



コルネリオ会

(防衛関係キリスト者の会)

ニュースレターNo. 139

2014年7月



滅びることなく、永遠の命を持つ

コルネリオ会 会員 関 博之

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠の命を持つためである。」(ヨハネの福音書第3章第16節)。有名な聖句ですので、今、これを読んでくださっている方がノン・クリスチャンであったとしても、聞いたことくらいはあるかもしれません。マルチン・ルター(Martin Luther)は、この聖句を「聖書のミニチュア」と名付け、聖書全体が失われるようなことがあっても、この聖句が残っているならば、人々はクリスチャンになり続けるであろうと述べました。それだけ、この聖句にはキリスト教の「エッセンス」が詰まっているということです。今回の私の証しの目的は、私の体験を通じて、この聖句についてお話することです。

私は、現役の海上の幹部自衛官です。最初に聖書に出会ったのは、2009年で、私が海上幕僚監部に勤務していた時です。仕事で行き詰まりを感じ、身も心もボロボロになっていました。そんな時に、たまたま書店で何気なく聖書を手にとり開いたところ、突然、頭の中で声が響き渡りました。「恐れることはない。私はあなたの人生を変えていく。あなたは多くの人々に正しい知識と知恵を伝えるための器。私はあなたを用いる」その時、私はびっくりして、聖書の本棚に戻して、その場を逃げるように立ち去りましたが、結局は聖書を買って読むようになりました。不思議なことですが、それから聖書のバックにいる「何か大きな存在」から頻りに語りかけられるようになりました。「わたしについて来なさい」や

がて私は、道端のお地藏さまやお稲荷さんなどとは比べ物にならないほど、何か大きな存在が臨在していることを確信するようになりました。ある日、私は職場の同僚でクリスチャンの人をお願いして教会に連れて行ってもらいました。しかし、自分のような人間が清い人間なんかになれるわけないと思い、3回ほど教会に行った後、結局は教会へは行かなくなってしまいました。しかし、聖書のバックにいる大きな存在への確信はあったため、その後も独学で聖書を読み続けました。聖書まで読まなくなると、本当に何か大きなものまで失ってしまうような恐怖を感じていたからです。

転機が訪れたのは、教会から離れておよそ5年後の、2014年4月20日でした。自宅を購入し、防衛大学校総合安全保障研究科後期課程入校を命じられ、新しい生活をスタートさせた矢先に、急に教会に行かなければならない衝動に駆られ、自宅から一番近いプロテスタント系の教会の日曜礼拝に行きました。奇しくも復活祭(イースター)の日でした。その日はその教会で、洗礼式も執行されました。洗礼を受けたのは、20代の若い女性でした。洗礼式の後、彼女と一緒に昼食を食べながらお話をする機会に恵まれたのですが、彼女は神様を知ってから、わずか1年で洗礼に至ったというお話を聞き、「こんな若いのに立派だな。自分はもう40歳を越えて5年間もフラフラと何やっているんだろう」と自己嫌悪に陥りました。それから毎週、欠かさずにこの教会の日曜礼拝に参加するようになりました。しかし、やはり洗礼への一歩を踏み出せないままでした。それ

は、自分の罪を認めたくないというエゴが邪魔していたからです。しかし、聖書の創世記の中で、ヨセフが自分を陥れた兄弟に対して復讐するのではなく、次のように優しく語りかけるのを讀んだ時に、自分の中で変化が起きました。「ヨセフは彼に言った。『恐れることはありません。どうして、私が神の代わりでしょうか。あなたがたは、私に悪を計りましたが、神はそれを、良いことのための計らいとなさいました。それはきょうのようにして、多くの人々を生かしておくためでした。ですから、もう恐れることはありません。私は、あなたがたや、あなたがたの子どもたちを養いましょう。』こうして彼は彼らを慰め、優しく語りかけた」(創世記第 50 章第 19 節～21 節) この時まで、私はどうしても許せないと思っていた人間がいたのですが、この時、彼を心から許す気持ちになれました。と同時に、自分の罪深さも素直に認めることができるようになりました。この時、神様は私に改めて「わたしについて来なさい」と手を差し伸べてくださいました。私はその手を握り返すようにして、洗礼を受けることを決心しました。そして、2014 年 8 月 3 日に洗礼を受けました。

コルネリオ会を知ったのは、2014 年 11 月に、研究が煮詰まって自宅に帰れなかった時に、防衛大学校

から最寄りの教会である馬堀聖書教会の日曜礼拝にお邪魔した際に、ここの教会員であった石川信隆コルネリオ会会長と偶然出会ったのがきっかけです。神様は私にコルネリオ会という場を通じて、私を用いようとされているのでしょう。これも不思議な神様のお導きだと思っています。

私はイエス・キリストを受け入れるまでに、長い間、紆余曲折があり、結果として洗礼を受けた時には 40 歳を過ぎていました。それまで神様は、私を気長に見守ってくださいました。しかし、私の体験から言えることは、イエス・キリストを受け入れるのに年齢は関係ないということです。何歳であろうとも、悔い改めて主を受け入れた時から、その人の新しい人生が始まるのです。「それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠の命を持つためである」は、何歳になっても実感できますし、実感できる喜びは、とても言葉では言い表せないものです。「わが神、主よ。私は心を尽くしてあなたに感謝し、とこしえまでも、あなたの御名をあがめましょう」(詩篇第 86 章第 12 節) このような神への賛美を、心の底から言える人が、1 人でも増えてほしい。そう願ってやまない今日この頃です。

2015 年度総会報告

5 月 9 日(土)、2015 年度コルネリオ会総会をエデン教会の一室をお借りして実施しました。2014 年度の活動報告・会計報告と 2015 年度の活動計画・予算計画及び役員人事の審議がありました。

また、2015 年度の活動計画、役員人事、会計決算及び予算は以下のようになっています。異議のある方は会宛て 1 ヶ月以内に申し立ててください。

2015 年度コルネリオ会活動計画

1 方針

2015Interaction Japan (軍人クリスチャンリーダー研修会 (2015 年 9 月 10 日—12 日両国、日本開催)を実施する。この会が主の栄光を現わすことができるように、毎夕各自祈る。

また韓国で開催される 2015 MEO (Mission Evangelical Organization) プログラム(2015 年 6 月

22 日—29 日、ソウル、オーサンリ祈禱院)に 1 名(関博之兄)を派遣し、その恵みを分かち合う。

2 活動要領

- (1) 2015Interaction Japan が主の栄光を現わすため、毎回の例会で準備・シミュレーションを行う。
- (2) 例会

ア 例会は、原則として毎月第 2 土曜日に開催する。

イ 学び会は会員の霊的成長につながる集会となるようなプログラムとする。

また聖書の学びに加え、祈り会によって現役会員の使命が達成されるように、コルネリオ会の魅力化を図る。

ウ 役員会は学び会前後に必要な最小限の時間で実施する。この際、霊的一致が図られるよう祈りの時間を重視する。

エ 新来訪者を歓迎し、共に学び交わる環境を醸成していく。

(3) 広報

ア 会員の証しや学び会での恵み等、ニュースレターの記事をさらに会員の霊的成長につなげる内容に改善し、会員の会活動への参画意欲を醸成して行く。

イ 中央からの情報発信だけでなく、地方でのコルネリオ会活動（沖縄支部・関西支部・東北支部）の情報提供にも心がける。

(4) 宣教

ア ホームページにコルネリオ会の例会・総会の議事録を載せる。また各国AMCF等のホームページの日本語での紹介等を実施して会員等が活用しやすいホームページ作りに着意する。

イ 韓国軍人クリスチャンおよび防大生との交わりを継続し、信仰を深め励まし合う。

ウ 宣教団体との協力を継続し、会員の霊的成長につながる情報を提供していく。

(5) 国外活動への参加と支援

ア AMCF（世界軍人キリスト者の会）及び ACCTS（AMCFの教育支援機関）との連絡・調整を維持し、相互の意思疎通を図る。

イ 2015 Interaction Japan を実施する。

(6) 会計

ア 2015Interaction Japan への支援献金、活動の運営資金が備えられるよう、ニュースレター等を通じて祈り求めるとともに、支援者の獲得に努める。

イ 予算の効率的な使用に心がける。

3 役員人事

役職	2014 年度
会長	石川信隆
副会長	今市宗雄、中野久永
総務	芝祐治、関博之、木下真由美 檜原菜都子
渉外	中野久永、藪内隆志
広報	圓林栄喜、芝 祐治、中村誠一（沖縄支部）、松山暁賢（東北支部）
会計	長濱貴志
監査	玉井佐源太、伊藤忠臣
教職顧問	金学根、井草晋一、徳梅陽介
名誉会長	矢田部稔

4 2013 年度決算

(2014. 4. 1 ~ 2015. 3. 31)

1 収入	献金一般	¥278,000
	世界大会	¥434,000
	クリスマス献金	¥3,000
	利息	¥55
	前年度繰越金	¥764,722
	合計	¥1,090,777
2 支出	講師・謝礼費	¥90,000
	ニュースレター作成・発送費	¥44,278
	新聞雑誌広告費	¥0
	集会費・例会会議費	¥14,704
	慶弔費	¥21,296
	接待交際費	¥0
	旅費交通費	¥22,670
	事務通信費	¥4,738
	雑費（振り込み手数料）	¥5,556
	献金（国内教会・海外へ）	¥10,000
	世界大会参加費（3人分）	¥240,000
	2015Interaction Japan 準備金	¥200,000
	小計	¥653,242
	2016 年度への繰越	¥437,535
	合計	¥1,090,777

5 2015 年度予算

(2015. 4. 1 ~ 2016. 3. 31)

1 収入	献金一般	¥100,000
	クリスマス献金	¥5,000
	利息	¥100
	前年度繰り越し	¥437,535
	合計	¥542,635
2 支出	講師等への謝礼・支援費	¥30,000
	ニュースレター作成・発送費	¥80,000
	新聞雑誌広告費	¥10,000
	集会／例会費	¥15,000
	慶弔費	¥20,000
	接待交際費	¥5,000
	旅費・交通費（国内・国外移動）	¥20,000
	事務通信費	¥5,000
	雑費（振り込み手数料）	¥6,000
	献金（国内教会等へ）	¥10,000
	2015Interaction Japan 準備金	特別会計へ
	次年度への繰越	¥341,635
	合計	¥542,635

6 インタラクション特別会計

1 収入	参加費 (20名×¥25,000)	¥500,000
	献金 (30名×¥1,000)	¥3,000
	インタラクション献金	¥300,000
	インタラクション準備金	¥200,000
	合計	¥1,030,000
2 支出	通訳 (英→露 1名×¥10,000)	¥10,000
	牧師・講師	¥10,000
	印刷製本・教材	¥80,000
	事務・予備費	¥130,000
	宿泊 (朝食込み) (30名×¥7,000×2日)	¥420,000
	夕食 (30名×¥2,500×2日)	¥150,000
	昼食 (30名×¥1,500×2日)	¥90,000
	ホテル会議室使用料	¥70,000
	教会使用料	¥30,000
	合計	¥1,030,000

註: Lee Kap Jin, Ryles, Mo, MSO, スタン3名、,モンゴル3名 (10名の予定) は参加費免除。

7 2015Japan Interaction 奉仕分担

奉仕項目	担当者
全 般	石川・金学根先生
空港出迎え・見送り	韓国チーム: 権国防武官
	台湾・スタンチーム : 今市兄
	モンゴル・ACCTS・南アジア: 関兄
会 計	芝兄
会場案内・会場設営	滝口兄、加瀬兄
食事係り・人数把握	関兄
ホテル宿泊割り振り	今市兄
VIP 担当	石川・矢田部兄
お茶サービス等	桧原姉・木下姉
写真係り	石川
テキスト作成・印刷	石川・金学根先生
Visa 担当	木下姉
通訳担当	中野兄

Japan 2015 EA Interaction のために お祈りください

2015 年度総会報告にも記載しましたが、2015 年 9 月に東アジア地域の軍人クリスチャンリーダー研修会を東京両国で開催します。

この研修会は、各国のリーダー候補者等に AMCF の働きを学び、イエスキリストにより近づきたいという渴きを与え、AMCF 会員 (クリスチャン) の信仰成長に役立てるために行なわれます。

このため、参加者は軍人クリスチャン等で将来の MCF 活動のリーダーにふさわしい人物であることを条件として、各国から数名を基準としてトレーニ

ングを行います。

以下に実施の概要、プログラム等を掲載しますのでお祈りください。

特にインタラクション献金として 30 万円を目標にしています。必要が満たされるようお祈りください。

また、少人数での運営となります。会員等で奉仕できる方は是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

1 日 時 2015 年 9 月 10 日 (木)～12 日 (土)

2 場 所 ①パールホテル両国 (〒130-0015 東京都墨田区横網 1-2-24 Tel. 03-3625-8080)

②エデン教会 (〒130-0011 東京都墨田区石原 1-12-5 Tel. 03-3829-6400)

3 参加国 日本(1-2)、韓国(5-6)、台湾(4-5)、モンゴル(2-3)、中国(0-1)、スタン諸国(4-5)

4 指導者 Lee Kap Jin, Rick Ryles, Mo, Kim Hukken, MSO 等 5-6 名

5 参加費 25,000 円/人

6 プログラム

	10 (木)	11 (金)	12 (土)
-0730		就寝・個人祈祷	
0730-0830		朝食 (パールホテル)	
0830-0900		礼拝 (エデン教会)	
0900-1000		聖書研究 I	各国報告
1000-1030		休 憩	
1030-1200		聖書研究 II	各国報告
1200-1330	日本着	昼 食	
1330-1430	受 付 (パールホテル)	グループ 祈祷 I	出発準備
1430-1600		グループ 祈祷 II	
1600-1620	開会式	休 憩	
1620-1730	開会礼拝	証・交わり	
1730-1900	夕 食 (パールホテル)		
1900-2000	ACCTS 計画	MCF 企画 I	
2000-2100	MSO 計画	MCF 企画 II	
2100-	就 寝		

7 奉仕等ボランティア連絡先

会長石川信隆 cgishikawa@m4.dion.ne.jp

TEL 046-852-3546

(編集子)

NL の読者を募集中です。NL に関心のある方、NL を読んでいただきたい方の情報がございましたら提供ください。